東小だより

学校だより10月号
令和８年９月30日
昭島市立東小学校
校長　鈴木　正樹

つながりの中で成長する子供たち

校長　鈴木　正樹

朝夕の風に少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。先日は、御多用の中、「学校公開・道徳授業地区公開講座」へ御来校いただきありがとうございました。

２学期が始まって１か月がたちましたが、９月の学校生活では、様々な人たちとの関わりを通して、子供たちが学び、成長する姿を見ることができました。

18 日には、保育園・こども園の園児と１・２年生との交流活動「木となかよくなろう」を行いました。初めは少し緊張していた子供たちも、園児と一緒に活動するうちに、柔らかい表情になっていきました。「どうしたらみんなで楽しめるかな。」「困っていることはないかな。」と相手の立場を考えて行動する経験は、思いやりの心を育てる大切な学びです。１・２年生の子供たちにとっても、自分より年下である園児との関わりを通して、自分自身の成長を実感するよい機会になったことと思います。

また、25 日には、５・６年生が高等学校に訪問して高校生と一緒に防災訓練「起震車体験」「担架を使った搬送体験」「応急救護（AED・心臓マッサージ）体験」「消火器を使った初期消火体験」を行う機会もありました。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。訓練では、救助や消火の方法を学ぶだけでなく、地域の中で互いに支え合うことの大切さについても考えることができました。高校生の姿から学ぶとともに、５・６年生も「自分たちも誰かの力になれる。」ということを感じたのではないでしょうか。

園児との交流活動、高校生との防災訓練などの年齢の異なる人たちとの関わりは、子供たちにとって学校の教室だけでは得られない貴重な学びとなります。人と人とのつながりの中で、「相手を思いやる」「自分にできることを考える」「互いに協力する」といった力が育っていきます。こうした経験を、これからの学校生活にも生かしてほしいと思います。

10 月 17 日の運動会に向けて、各学年の練習が始まりました。運動会は、徒競走や表現運動などの練習の成果を発表する場であると同時に、友達と力を合わせ、一つの目標に向かって努力する大切な学びの場でもあります。練習を重ねる中では、思うようにできないことや、友達と意見が合わないこともあるでしょう。しかし、そこで諦めるのではなく、「どうすればもっとよくなるだろう。」「友達と力を合わせるにはどうしたらよいだろう。」と考え、工夫するところに大きな意味があります。一人一人の頑張りが集まり、学級や学年全体の力となっていきます。運動会当日の姿に加え、そこに至るまでの一日一日の努力や友達との関わりが大切だと言えます。子供たちが互いに励まし合い、支え合いながら成長していく姿を見守り支援していきたいと思います。

秋の深まりとともに、子供たちがさらに成長する 10 月となることを心より願っています。

保護者の皆様には、子供たちが元気に本番を迎えられるように体調管理等を引き続きお願いいたします。例年の PTA 役員の方々を中心とした前日のテント張り・会場設営や当日の場内整備・後片付けへの御協力にも改めて感謝いたします。当日は、力を合わせて頑張る子供たちの応援をよろしくお願いいたします。